家庭訪問の実施マニュアル（不登校時）

**連続３日欠席児童（腹痛・倦怠感・腹痛が繰り返されていないか？）**

**対応を協議する（ケース会議）**

**（担任・学年主任・管理職・生指主任・SC・いじめ不登校対策教員・養護教諭）**

**担任及びいじめ不登校指導員が家庭訪問を実施**

**家庭訪問シートを作成する**

**管理職・学年主任・生指主任へ報告**

**必要があれば**

**職員会議などで教職員全体に共通理解をはかる**

**・事象内容・指導方針・役割分担を全教職員で共通理解**

**・必要に応じて、関係機関（児童相談所・子育て支援課等）へ連絡・相談**

**※家庭訪問シートは、各学年の家庭訪問ファイルに保存し、次年度へ引き継ぐ。**

**また、個人情報なので、取り扱いには十分注意すること。**

家庭訪問シート

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊙

　　月　　日（　）　　年　組　名前（　　　　　　　）

家庭訪問の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 児童のようす |  |
|  |
| 保護者のようす |  |
| 服装 |  |
| 食事状況 |  |
| 部屋のようす |  |
| 生活リズムなど |  |
|  |

※必要事項のみ記入してください。

家庭訪問のポイント

１．子どもや保護者との信頼関係を築くことをめざす。

２．保護者の悩みを、相手の立場にたってしっかりと聴く。

３．本人と会えなくても保護者とは連絡を保つ。

学校は「待っているよ。」というメッセージを伝える。

４．長期欠席者でも、配布物や行事予定（特に運動会、修学旅行、文化祭、

卒業アルバムの撮影など）の連絡は欠かさない。